

私たちがキリストの奥義を語れるように、祈ってください。

イザヤ51:1

2014(26)年 週 報

6月29日
第5聖日
3358号

「キリスト者生活の原則」
(I テサロニ二連続講演第13回)

聖言

終わりに兄弟たちよ。主イエスにあつてお願いし、また勧告します。あなたがたがどのように歩んで神を喜ばすかを私たちから学んだように、また、事実いまあなたがたが歩んでいるように、ますますそのように歩んでください。私たちが主イエスによってどのような命令をあなたがたに授けたかを知っています。サロニケ I 4 : 1、2

礼拝の恵み⑬ 第一六章

第五節 礼拝の土台

第一節 あがない

神は真に絶対的に聖である故に、神は罪を罰せざるを得ない。このような見方から、生来の罪人がどうして聖なる神の御前の立つて礼拝をささげられるか。それに対する答えはあがないである。

「神の完全なる義は 救い主の血にあかしされている。

キリストの十字架こそ かれの義と恵みとがある。

神は罪人を見逃がせない。

その罪は彼の死ぬことを求める。

しかしキリストの十字架において

神が我らを救いたもうのを見る。

罪は救い主の上に置かれた、

その死により負債は払われた。

義もこれ以上を求めはしない、

恵みは豊かに施すことができる。

信じる罪人は解き放たれた、

『救い主がために死せり』と言える。

あがないの血を指して

『これが私を神と和らがした』と答える。」

(オルバート・ミドレーン)

(「礼拝」APギブス著)

イエス・キリスト聖成伝道教会・東洋聖書神学院・聖成基督教団

牧師 山本 稔 〒653-0812 兵庫県神戸市長田区長田町1丁目2番6号

電話 : F A X (078) 691-1419 郵便口座番号 01170-3-20374

<http://jchec.org/>

minoru_yamamoto@hotmail.co.jp メール m7-inoru@ezweb.ne.jp

二〇一四年六月一五日午前一〇時 礼拝 山本牧師

「テサロニケ教会のための祈り」(「テサロニケ連続講演第二二回」)

「私たちは、あなたがたの顔を見たい、信仰の不足を補いたいと、昼も夜も熱心に祈っています。」(テサロニケ三ノ一〇)

マザーテレサは言いました。無関心は最大の罪であると。欲望の愛や見返りを期待する為に愛の行為は出来ませんが、見返りのないのに犠牲を払ってまで人を助けることは難しいものです。エルサレムからエリコへ下る旅人が道中強盗に襲われ、半死半生の目に遭い、道端で苦しんでいました。時間勝負の状態でした。助けてください。と呼べど叫べど誰もいません。そこに祭司が通りがかりました。祭司とは神殿のなかで宗教行事をしたり、聖書を教えて神の愛を伝える今と言うなら、政治家、学者のような社会的な人です。倒れている人を見ると反対の道を足早に通りました。次にレビ人が来ました。レビ人は神殿で宗教行事をする人です。政治家、公務員、のような立場です。かれも倒れている人を見るとあたりを見回すと足早に道の反対の方を通りました。次にサマリヤ人がそこを通りました。サマリヤ人はユダヤ人と敵対していました。サマリヤ人は先の祭司やレビ人と同じようにせず、ロバから降りて、傷口をぶどう酒で洗い、オリーブ油で傷口を癒し、ロバに担ぎ上げて、宿屋まで連れて行き、宿屋の主人にお金をわたし治療を頼みました。それだけで終わらず、治療に掛かった費用は後から払いますと云ったのです。強盗に襲われた人の友人は誰でしょうとイエスキスは尋ねました。勿論一番敵対しているサマリヤ人です。同じ国、同じ民族、同じ学校。企業、家族、親族だから友人ではないのです。見返りを求めない犠牲を払う行為が愛です。テサロニケ教会にこの愛を求めました。なぜならこの愛こそまも

なくイエス様が御再臨されるとき求められるのです。クリスチヤンの目標は再臨であり、そのために毎日勝利の生活をするのです。その第一の条件は愛に満たされなければ成りません

二〇一四年六月二五日午後七時 祈禱会 山本牧師

「エルサレム滅亡の預言」(エゼキエル講演二二回)

「人の子よ。あなたは鋭い剣を取り、それを床屋のかみそりのように使って、あなたの頭と、ひげをそり、その毛をはかりで量って等分せよ。」(エゼキエル五ノ一)

エルサレムが受けるさばきの激しさは、エルサレムのあずかつた恵みの大きさの反映である。恵みが大きければ大きいほど、それを裏切った罪は重く、さばきは激しい。恵みが素晴らしく貴重なものであればあるほど、それを受ける者は慎重でなくてはならない。ヘブル書は主の恵みをないがしろにした人々に對して厳しく語っている。「一度光を受けて天からの賜物の味を知り、聖靈にあずかるものとなり、神のすばらしい言葉と、後にやがて来る世の力とを味わったうえで、しかも墮落してしまふならば、そういう人々をもう一度悔い改めに立ち返らせることはできません。彼らは、自分で神の子をもう一度十字架にかけて、恥辱を与える人たちだからです。」(六ノ四〜六)エルサレムの住民のように靈的に鈍い者にならないように気をつけよう。

(鷹取著「エゼキエル」参考)

七月行事計画

四日(金) 月に一度の楽しい祈禱会 午後一時

五日(土) 一五日(火) 韓国永遠賛美チーム一〇名来日

六日(日) 役員会 礼拝後

六日(日) 七日(火) 八日(火) 十一日(金)

七夕賛美コンサート 午後五時

一四日(月) 説教塾 神港教会 午前十一時

神戸宣教協力祈禱会神戸中央教会 午後二時半

二二日(月) 教団牧師会 午前一〇時

二二日(火) 納骨堂掃除 午前九時

教会リバイバル祈禱会 東部教会 午後一時

三十一日(木) 榎原家集会 午後二時

七月会計役員 尾瀬姉 小段姉 大内姉

七月召天会員

五日 白数大二郎兄 五一周年

十二日 北出昭夫兄 一八周年

十八日 李在恒兄 六二周年

早瀬恵子姉 一三周年

二〇日 松田勇助兄 六九周年

二二日 北田トヨ姉 一一九周年

毛利慰真子姉 五〇周年

二三日 野木千代吉兄 三四周年

尾瀬隆雄兄 九周年

二四日 梶原信成兄 五九周年

二七日 松田昭子姉 二四周年

津田 勇兄 一八周年

二八日 富山定雄兄 三五周年

三一日 三永雄章兄 七一周年

※召天会員の御遺族は納骨堂周辺の掃除をお願いします。

韓国賛美キーウ 七夕賛美コンサート Eternal Psalm(永遠の賛美)

7月6~8日・11日(たこ焼き)PM5~7



会場 イエス・キリスト聖成伝道教会

神戸市長田区長田町1-2-6 Tel 691-7479

神戸高速・市営地下鉄長田駅 北300m